

常磐文藝

柿

飯村 開舟

身知らず
垂れ下る
人の俗言
「身知らず柿は」
枝を折る程
人の目を
掠める程
閉結して
人々の手に歸せぬ事に
努めたが人の爲に
忽ち長竿で
枝を捻られて
土の上に
したゝか
身を打たれて
氣絶した
翌朝幽かに
意識を蘇へて
邊を見廻せば
小店の箱の中に
整列して
我身が置かれた
其の深の
身は箱の
欲溢さに
苦悶を抱いて

■募集 文藝其他一般
投稿を歓迎します

黙々と
涙を流のかした
我等の運命は
刻々と客人に
迫られて
刃の戦慄
人間の餌ならん
として居る
我等は枝に生れたも
束の間
今は惨酷な死を
待つのみ

(完)

定額
一部金貳錢 月極
ニ限リ一ヶ月卅錢
料告廣
五號十三字詰
一行五十錢

日刊休
曜 大祭
祝日の翌日

印刷

福島縣石城郡平町
田町十六番地
磐城新聞社印刷部

編輯兼

川崎 文治

印刷人

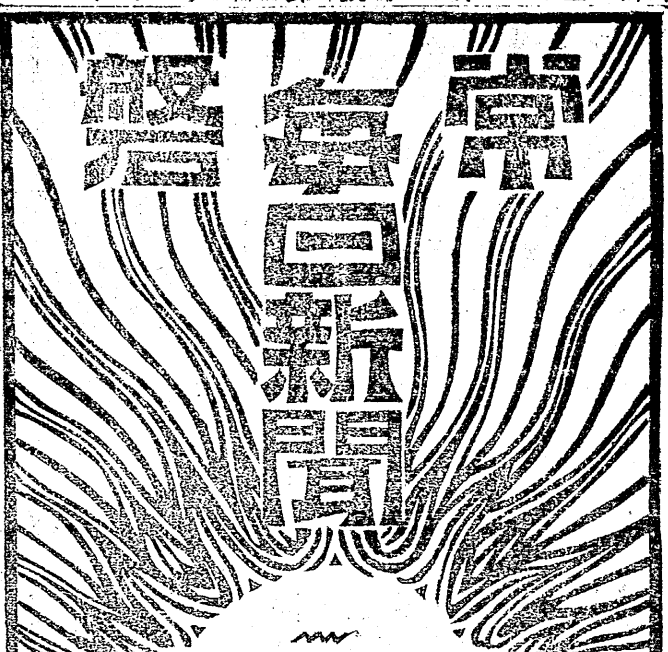
川崎 文治

發行所

福島縣石城郡平町
字長橋町卅五番地
常磐毎日新聞社

所行發

福島縣石城郡平町
字長橋町卅五番地
常磐毎日新聞社



二十二月四日夕刊

今回弊店小間物部
を渡邊帽子店に譲
渡し且つ銃砲火薬
店は渡邊貫一氏に
一切の經營を委任
仕候て左記の場所
に新居をトし候間
今後共何分御贖負
の程幾重にも懇願
仕度此段辱知諸彦
に謹告仕候
平町一丁目キ屋號
大和田牛音
轉居先 東京府下瀧の川
川町字瀧の川

冬物來る!

東京問屋の復活と相場の安定
格安品充滿せり
特價品提供(十二月五日より迄)

- △正紺 縞 金壹圓參拾錢
- △ニゴ 縞 金壹圓五拾八錢
- △本綿裏地 金八拾五錢
- △綿ネル 柄一丈物 金壹圓五拾錢
- △白時 赤一丈物 金壹圓參拾八錢
- 改良外套、ヘジマエリ、二重廻、マント、可愛小供マント、婦人用東コート、ジャケット各種
- △七五三御祝着 新柄 豊富
- △御祝儀用品一式 豊富
- △實用向御仕着 各種
- △毛糸は 現代の編物用として流行各色
- △絹大足袋大々的廉賣
- △吉因用御引物用反物各種多敷取揃へ特に格安に御願可申候

三井吳服店

海岸線平町三丁目
電話三三八番

初冬の候彌々御清祥奉賀上候陳者今
回正喜社と稱する廣告取次業を創業
弊社關係の廣告掲載に關し貴意を得
たるやに仄致し候處右は弊社と絶
對關係無之且つ正喜社經由の廣告は
一切掲載致さず候に付右に御諒知の
上倍舊の御後援賜はり度懇願候也
いわざ新報社
磐城日々新聞社
磐城新聞社
常磐毎日新聞社

株式買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御都合願候

磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	三〇〇	二七〇
田村實業	一一五	一二五
四倉銀行	一一五	一二五
農工銀行	二〇〇	二五五
同 新	一五〇	一九〇
同 新	五〇〇	五三〇
同 新	一一五	一四五
同 新	一一五	九五
同 新	五〇〇	三九〇
同 新	二五〇	一八〇
同 新	一一五	六三
植田水電	一一五	一三五
好間水電	一一五	一三五
磐城建物	一一五	四七
磐城製菓	二〇〇	六五
平信託	五〇〇	四九〇
磐城勸業	一一五	一三五
磐城物産	三〇〇	二五〇
平製水	二〇〇	二二〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
小名商埠	一一五	...
小名水産	一一五	...
小田炭礦	二五〇	五五
磐城炭礦	五〇〇	三七五
同 新	二二五	一五〇
同 新	五〇〇	九六〇
同 新	一一五	三四〇

毒氣ある身體にて
た困りの御方は
毒退丸の効能を
試みられよ!!!
効能としては梅毒、痔病、胎毒、淋病、消渴、癩麻、質斯等凡て毒氣ある身體に特効あり
石城郡内郷村小島
毒退丸販賣本舖
山下重愛堂
☒(其他全國到處に特約店あり)

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

丸登株式店
平町田町電話三三二番
川添房二郎

私の川崎論

福島民報 山田磐磨
(六)

ニイチエは又斯う叫んだ、
「善とは何んぞ、威力の感じ、威力の欲する心を高むる凡てのものである。人間の有する力それ自らである。悪とは何んぞ、弱きより生ずる一切のものである。幸福とは何んぞ、威力の増すを感じ、抵抗に打勝てりど感ずる事である。満足の念にあらすして更に大なる威力、必ずしも平和にあらすして、戦闘。徳に非ずして能力。
弱き者、缺點多きものは

苦しめらるべきである。吾人は彼等が苦しめられる加勢をしてやるべきである。罪惡よりも尙有害なもの、何んであらうか。弱きもの、缺點多きものに對する實際的同情である」と斯くしてニイチエは飽くまで因はれた道徳を極度に呪い且つ罵り、そして「權力の意志」と「大なる威力」をモットーとして卑屈な、謙遜な人間社會に楯を突いたニイチエと川崎との類似してゐる點は「權力の意志」と「威力」である、無論川崎には、ニイチエの様な、超人的の道徳や、強烈な個人主義

的思想は無いにしても、或る程度まで自我の意力を發揮する處などは稍々近似してゐるものであらう、だが川崎の自我と、ニイチエの自我とでは、見解を餘程異にしてゐる、ニイチエには餘りに自我の強さを感じてゐるに反し、川崎にはやゝもすれば、自我の前にサイエンスに基づく機械的人生觀がチヨイ／＼頭を擡げ、それと同時に自己の境遇から來た打算が彼れをして往々弱き者に陥れやうとする其處に彼れの苦悶が起り悲哀が湧いて來るやうである
(續)

平町を疾駆せる

自働 冒險行軍

世田ヶ谷と仙臺間を 耐寒晝夜兼行の演習

今朝東京世田ヶ谷陸軍自働車隊は平町を疾駆し海岸通りを仙臺に向つたが右は全國各部隊から分遣された自働車教習並に機關調節訓練修業の神津歩兵大尉外十三將校、藤川重砲兵曹長外二十下士官の卒業

長距離 行軍で最初飯田大佐來高輜重兵少佐指揮の下に將官七名増加し、乗用自働者六、貨物自働車四、サイドカー附オートバ、イ四の十四臺参加、人員六十名の編成で二日早朝

本隊を 出發利根川の渡船演習を行ひ午後六時土浦に宿營し、三日午前七時水戸に向つて出發陸路は陸前濱街道、復路は奥羽街道に依り、二日土浦、三日湯本、四日中村、五日仙臺六日飯坂、七日滞在、八日若松、九日鹽原、十日歸隊の豫定であるが此の

國民作興

趣旨徹底協議

國民精神作興に關する詔書趣旨徹底に關し廿一日午前十時石城郡役所に郡内各町村長及び小學校長、青年團長、神職僧侶、在郷軍人分會長、産業組合長、農事實行組合長を招集徹底方法の協議を爲し社會教育主事桐谷文平氏の講演ある筈

少壯團體の運動

政治 愈申合や決議を可決 東北地方に大遊説を

政界愈々多事ならんとする秋に當り全國青年を糾合すべく平町にも論陣を張つて一大勢力の新團體を建設せんとするの運動起り先づ東都に一新會の組織を見んとせるは昨報の如くであるが昨日午後四時から丸の内ビルディング中央亭に鈴木文治氏其他集合左の申合及び決議を可決した

申合 少壯團結新日本建設の爲

高島氏を聘し 平町青年總會

今晚幹部協議

平町青年團にては来る九日午前十時より平第一小學校に於て秋季總會を催し東洋大學及び女子大學の教授にして兒童心理學の泰斗たる高島平三郎氏を聘し一場の講演を乞ふ筈で今晚七時から大森團長宅に幹部會を開き種々打合せた

米俵編みの 實地傳習

高久青年團が

石城郡高久村青年團秋季總會は昨日午後一時小學校に開會大垣内技師の産米改良に關する講話小幡産米検査員の糸俵編みの實地傳習あつた

蔬菜と副業

大浦の品評會

石城郡大浦村農會、青年團聯合主催蔬菜及び副業品々評會は八九の兩日小學校に於て開催、九日午後一時から褒賞授與式を舉行し終つ

不平受付

◆ 投書歡迎 ◆

道路で打球 此頃道路で夕方頃盛んに球投げをする者が多く自轉車を走らせる場合杯に危険が多くて困るので適當な運動場が無いめ爲と同情はあるのですが夫れにしても交通源な道路で球投げをするのは感心しません

伊藤平署長の答……小學校とも打合せの上注意は拂つて居るのですが報告に依れば大部ヲトナ杯も平氣でやつて居る事を耳にしますから充分取締りを嚴重にさせよう

眞面目な 性慾問題

眞面目な性慾問題

子宮は壺口を尖がらして腔を覗いてゐる、子宮にはお産の場合には赤ン坊の頭を通る程に引き伸ばされ縮むものであるが、平素は一指でも通し得ぬ程の狭さで粘液を以つて閉されてゐる、精蟲のみ通過せしむべき大切な關門である。子宮と体の外表との間に僅かの空洞がある、之を腔と云ふ。腔の外部即ち腔口には幼き間は處女膜があつて通行を遮断して居るが、月經が顯れるやうになつてからは、之を排除するだけの孔が出来ゐる。處女にあらざる者では處女膜の破片が不規則に出口の周圍に残留する。腔口を遮るつて大小の陰唇、其他あるが、要するに腔以外は枝葉の附屬器官に過ぎない、此等の構造を總括して外部生殖器と云ふ。以上述べた處の人間の芽を作る卵巢、それを輸送する喇叭管、之を保護し、發育せしむる子宮、子宮に向つて精蟲を通はせる腔以下の部分、是等は婦人の重要機關だ(續)

常磐片々

平第二校の女兒體鍛練、遅まきながら結構至極

警中警女への震災轉校者四十二名

國民精神の作興協議、小田原評議に終らざる事を望む

大浦農會、副業獎勵の爲め其品評會を開く

激勞に身を處しても尙且つ副業を求めねば食へない農家は哀れだ

避難轉校生

警中へ三十名 警女へ十二名

震災避難者として警城中學校に轉校せるは卅名、警城

平局の状況

去月中の受配

平郵便局に於ける去月中の事務状態は通常郵便の引受が廿二萬八千六百九十九通同配達十八萬五千八百卅八通、小包郵便は引受千七百六十五組、配達三千七百六十一個、電信は発信五千百十一

女兒體鍛練

平第二校にて

平第二小學校にては女兒の体育改善に資せんが爲め七日午前九時から同校に於て體鍛練會を催す由

信用組合協議

石城郡

小名濱信用組合役員會は四日午後五時から同組合事務所に於て資金貸付の件借入金に關する件を協議する由

赤心堂内科醫

平町田

- 任醫欠員中の所今回横濱市渡邊病院勤務西本學士を聘して内科診療を爲す由
- 平町人事
- ▲出生
- △杉平 笠原友太郎四女たけ 五女むめ
 - △仲間町 坂本榮吉三女とし子
 - △長橋町 關内信次郎二男賢治
- ◆婚姻
- △南町 岡田健吉(二五)神谷村荒川たかの(二二)
 - △紺屋町 市原守馬(三二)同町市原ふじ子(二三)